

平成20年度佐賀環境フォーラム実績報告書

1 実施体制

組織体制は、佐賀大学・学生スタッフ・市民・佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講状況等

(1) 受講要件

高校生以上

(2) 受講料 (年間：前期・後期 ※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円(1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 2講義につき 1,000円
- ◇ スポット受講者(学生) : 2講義につき 300円

(3) 参加者数 ※ [昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 50名 [42名]
- ◇ 学生 : 2名 [1名]
- ◇ 法人 : 7社 [12社]
- ◇ スポット : 120名 [39名]
- ◇ スポット(学生) : 0名 [10名]
- ◇ 佐賀大学生 : 43名 [95名]

3 事業概要

■ 講義

- ◇ 平成20年5月8日(木)から平成20年7月10日(木)まで
- ◇ 午後7時から午後8時30分まで(※質疑応答：午後9時まで)
- ◇ 佐賀大学理工学部6号館都市工学科大講義室
- ◇ 全12回

回	日程	講義内容	所属等	講師名	受講者数			
					市民	佐大生	スタッフ	計
1	5月8日(木)	環境問題総論	佐賀大学理工学部 教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事務局長	宮島 徹	58	34	15	107
		佐賀大学の環境マネジメントシステム	佐賀大学 理事	向井 常博				
2	5月13日(火)	宇宙から見守る地球環境	佐賀大学理工学部 教授	新井 康平	50	33	10	93
3	5月15日(木)	医療廃棄物の現状と課題	佐賀大学医学部 教授	中島 幹夫	37	33	13	83
4	5月20日(火)	真に環境に優しいライフスタイルを ～LCA思考のすすめ～	北九州市立大学国際環境工学部 教授	乙間 末廣	44	32	12	88
5	5月22日(木)	すみにおけない炭の話 ～炭素繊維による水環境整備～	群馬工業高等専門学校 特任教授	小島 昭	53	27	13	93
6	5月29日(木)	環境問題と会計	佐賀大学経済学部 准教授	小川 哲彦	41	30	10	81
7	6月5日(木)	資源・環境問題への眼差し～宮崎駿の苦悩～	佐賀大学文化教育学部 准教授	中村 聡	53	31	10	94
8	6月12日(木)	持続可能な社会を“地域”から創る	NPO法人環境市民 代表理事	杵本 育生	58	33	9	100
9	6月19日(木)	おいしい屋上(屋上緑化について)	(株)マサキ・エンヴェック	切手 さや香	41	26	9	76
10	6月26日(木)	化学物質の人体汚染について	NPO法人次世代環境健康学センター 環境健康学トランスレーター	立石 光敏	138	32	15	185
11	7月3日(木)	市民と農業と環境	佐賀環境フォーラム 市民スタッフ こだわり野菜倶楽部 顧問	熊谷 康彦	40	29	11	80
12	7月10日(木)	川の恵みが・・・まちを変えた！ ～住民運動にみる思想と行動の遍歴～	(株)おおよま夢工房 ひびきの郷・水辺の郷 取締役兼総支配人	緒方 英雄	49	32	12	93
合計					662	372	139	1,173

■ 体験講座

- (1) 水質調査（水生生物調査） 平成20年5月17日(土)

【目的】

水生生物調査を経験することで、身近な河川に親しみ、水質を理解するとともに、自然環境を守り、より良くしようという意欲を増進することを目的としている。

【内容】

嘉瀬川2地点（富士町貝野川合流地点・石井樋水ものがたり館）で調査し、その結果について、佐賀市清掃工場にて発表した。

- (2) ごみ探検隊 平成20年6月14日(土)

【目的】

佐賀大学構内のごみの分別について調査することで、3Rや循環型社会の基礎を学び、ごみの減量化に努める環境マインドを養うことを目的としている。

【内容】

佐賀大学構内のごみ分別の現状について7班に分かれ、見学・考察し、その結果について発表した。

内容	一般	佐大生	スタッフ	計
水質調査	7	3	8	18
ごみ探検隊	2	35	7	44
計	9	38	15	62

■ 現地見学会

【日時】平成20年6月28日(土)

【内容】県内にある施設等の現地見学。以下の3コースのうち1つを選択。

- ①エネルギー : 佐賀大学海洋エネルギー研究センター — 肥前風力発電
- ②自然 : 有明水産振興センター・干潟体験 — 富士町植林地
- ③企業 : 味の素(株) — 九州積水工業(株)

コース	一般	佐大生	スタッフ	計
①エネルギー	10	19	2	31
②自然	2	9	2	13
③企業	11	4	3	18
計	23	32	7	62

■ グループワークショップ

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、各グループが研究テーマを決めて研究活動を行った。

	一般	佐大生	計
平成20年度	24	50	74
平成19年度	31	53	84

(1) 研究テーマ

① 食と環境 【継続：4年目（H17～）】

食料自給率とフードマイレージとの関連性に着目し、環境にやさしい食糧生産のあり方について見学会等をとおして調査し、「地産地消」の有用性について提案した。

② 佐賀大学版EMS 【継続：5年目（H16～）】

佐賀大学が昨年度認証取得したEA21の概要や実施状況について、佐賀大学環境報告書やEA21ガイドライン、他大学の事例を参考に改善点を考察し、また構内に溢れる放置自転車の有効利用策について考察し、提案した。

③ シックスクール 【継続：5年目（H15～）】

室内環境の健康影響を考える事例として、シックスクール問題を取り上げ、シックハウス症候群の現状を理解するとともに、実際に佐賀市内の小中学校室内空気を測定し、シックスクールの発生原因やその対策について検討した。また、研究結果の一部を佐賀市へ呈し、行政においてどのような対策が講じられているかを検討した。

④ エコツーリズム 【継続：6年目（H15～）】

佐賀地域における地域振興の形としてのエコツーリズムを確立するために、佐賀地域が有する観光資源を調査・検討し、今年度は具体的に多布施川流域を中心としたツーリズムについて考察し、佐賀地域における可能性と課題について提案した。

⑤ クリーク 【継続：5年目（H16～）】

かつて行われていた低エネルギーの循環型農業である「ごみくい」を復活させ、クリークの底泥を有機肥料として農業に利用するため、底泥の安全性の評価を行うとともに、底泥の農業資材としての有効性について実験し検討した。

⑥ 水環境 【継続：4年目（H17～）】

佐賀市の水環境を改善することを目的として、蓮池公園内にある池を対象として濾材による水質浄化実験を行うとともに、池の水質汚濁の原因究明に努め、水の入れ替え方法の改善策について検討した。

⑦ 環境教育 【新規】

幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、ホテルの一生を表現した紙芝居を作成し、幼稚園保育園に赴き実践することで、こどもたちに自然に親しみをもってもらい環境問題を直接的に伝えた。

⑧ エコ検定 【新規】

環境問題の基本的な知識を獲得するために、東京商工会議所主催の「エコ検定（環境社会検定試験）」を受験し、エコピープル（検定合格者）を目指した。

(2) 各種会議

① 第1回全体会 平成20年 7月17日（木）

② 第2回全体会 平成20年10月23日（木）

③ 中間報告会 平成20年11月29日（土）

(3) 研究成果発表会

日時：平成21年1月24日（土）

出席者：計77名（WS参加者47名、一般22名、スタッフ8名）

※ ワークショップ研究成果発表会のDVDを作製し、市内各所へ頒布した。

■ 河川清掃

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春と秋の2回、地元自治会や佐賀大学教職員と共に実施した。

- (1) 春の河川清掃 平成20年 4月27日(日) . . . 99名参加
- (2) 秋の河川清掃 平成20年10月26日(日) . . . 88名参加

※ 清掃終了後に、佐賀大学生協にて懇親会を開催

■ 平成「打ち水」夏の陣2008

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらうきっかけとした。

【呼びかけ期間】 平成20年7月22日(火)～平成20年8月23日(土)

- (1) 栄の国まつり 平成20年8月3日(日) . . . 25名参加
- (2) 佐賀城本丸歴史館 平成20年8月4日(月) . . . 100名参加

■ 終講式

日時：平成21年1月24日(土)

修了者数：【一般】36名(52名中)、【法人】7社(7社中)

■ その他

- (1) 2008佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

日時：平成20年10月30日(木)～平成20年11月3日(月・祝)

※会場内に設置された佐賀市環境展内において、佐賀環境フォーラムのPRを行った。

- (2) 第3回佐賀環境フォーラム・佐賀大学研究プロジェクト合同講演会

日時：平成21年2月15日(日)午後1時30分から午後6時10分

会場：佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室

※平成18年度から、佐賀大学と合同で開催している。

※フォーラムからは、ワークショップ「環境教育」、「水環境」、「エコツーリズム」、「クリーク」、についての研究報告を行った。

- (3) ごみくい

主催：三気の会(元気・勇気・活気の会)

日時：平成21年2月22日(日)午前9時30分から

会場：佐賀市巨勢町

- (4) 環境啓発事業等補助支援

・「有明海ぐるりんネット シンポジウム2008」の支援
(NPO法人「有明海ぐるりんネット」主催)

4 課題

■ 現状

- ・講義 ほぼ満足、具体的な要望あり
- ・体験講座・現地見学会 事業内容に改善の余地あり
- ・ワークショップ 今年度グループへの評価
- ・河川清掃 フォーラム・大学・自治会の共同事業としての定着
- ・打ち水 フォーラムの事業としての定着、学生スタッフ数の減少

■ 来年度に向けて

- ・講義 受講者リクエストの反映（できる限り）
- ・体験講座・現地見学会 事業の見直し、スタッフの知識の徹底
- ・ワークショップ 「継続」についての確認
- ・河川清掃 より多くの学生参加の促進
- ・打ち水 事業の実施について十分に検討